

# 御堂筋STYLE創生

-ビジネスストリートの未来を創る・発信する-

2005.09 御堂筋まちづくりネットワーク

## 出会い・ビジネスチャンスにあふれるまち

- 生活関連産業、ソフト産業など金融以外の時代をリードする様々な産業の集積もできている。
- 沿道ビル内の会議室や御堂筋に面するショールームでは、こうした産業に係るデザイナーの会議やイベントが開催され、また、周辺にはビジネスフェアが開催される展示場もできている。
- そして様々な業種のワーカー、経営者、学識者、学生、旅行者などが、昼夜、平日休日を問わず集まっている。集まるための場がある。
- その交流の中からビジネスが芽生え、発展し、起業していく。そのための安価なオフィス、小規模ビルが御堂筋周辺には残されている。そして大企業が集積する御堂筋への進出を目指している。
- そのことが集積、交流、起業の好循環を生んでいる。



## さまざまな知的刺激のあるまち

- 様々な業界で活躍するワーカー達が、街かどのカフェやレストランで語り合っている。そこでは最先端の情報、活動的なワーカーの姿に触れることができる。自分を磨くことができる。
- 「御堂筋彫刻美術館」構想が定着し、その一環として図書館、美術館、コンサートホールが立地した。そして様々な催しが開催される北御堂、南御堂を含め、芸術・文化に触れる機会も増加した。
- 人的ネットワークを上げたいと思えば、会員制のサロン、様々な交流会などのしかけがある。
- 大学のサテライトキャンパスやビジネススクール等、スキルアップのための施設が充実している。



## 憩える・楽しめるまち

- 週に1度の昼休み2時間運動も定着し、カフェやレストラン、ポケットパークは賑わい、ミニコンサートや軽スポーツを楽しむ人も増えている。
- 歩道や公開空地にカフェテラスやキオスク、屋台を設置し、ベンチを置くことができるようになった効果は絶大。
- また緩速車線の活用によるカフェも新たな魅力である。それによりイチョウ並木の魅力も再認識されている。
- 「御堂筋彫刻美術館」構想の定着により、彫刻も注目され「彫刻ストリート」として広く知られるようになった。
- 整備された街区内の歩行者スペースも快適だ。季節感のある花や緑にあふれ、ビジネスだけでなくゆったりとした時間をも味わえるまちになってきた。



## 付加価値の高いまち

- 質の高い建築物の集積、近代建築、イチョウ並木、彫刻などにより、新たな「活力と風格」が形成された。
- イチョウのイルミネーションやライトアップにより、夜間の魅力もアップした。
- 御堂筋にオフィスを構えていることがステータスであり、良好な企業イメージ創出の大きな要因である。
- 不動産価値は上昇、建替えやリニューアルが進み、さらに価値が上昇するという好循環が生まれている。



## 活発な情報の受発信ができるまち

- エリア内企業ネットワークが機能し、各種情報受発信のしくみの存在が御堂筋の優位性となっている。それは御堂筋まちづくりネットワークを中心とした周辺の団体も加わったポータルサイトである。
- このネットワークを活用した御堂筋ブランド企画商品の商品化が図られ、周辺の活性化に寄与している。
- 一方で、沿道ビル1階のショウウィンドーからも、新しい情報が継続的に発信されている。



## チャレンジし変化していくまち

- 「御堂筋まちづくりネットワーク」が核になり、時代の変化に合わせたまちの歩むべき方向が示され、実践され、変化している。
- ビジネスセンターの新しい姿は、御堂筋で生まれ全国に発信される。
- 新しい試みはまちの各所でおこなわれ、まちにはそれを支える風土が醸成している。



## 利便性の高いまち

- 充実した地下鉄網に加え、船場エリア内のループバスやレンタサイクルにより利便性はさらに高まった。
- オフィスサポート機能も充実し、起業の環境も整っている。
- ホテルやレストランも充実し、遠方からの来客は、終日御堂筋周辺に滞在可能となった。



## 訪れたい・住みたいまち

- 御堂筋周辺の豊富な歴史的・文化的資源が脚光を浴びており、御堂筋を訪れる人が増えた。
- カフェやレストランは、来街者にも人気があり、夜間や休日にも賑わっている。
- 御堂筋周辺は「住みたいまち」となり、低層階に店舗、高層階に住宅というスタイルが増えた。

